

# 兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 22号)

2021年 4月 7日発行  
 兵庫のみ研究所

この海域全域において、栄養塩を消費する植物プランクトンはほとんど確認されませんでした。窒素は、明石海峡部周辺海域で  $2 \mu\text{g-at/L}$  台とやや上昇しており、陸水等の影響が見られた地点を除き二見東部以东で  $1 \mu\text{g-at/L}$  台半ば～  $2 \mu\text{g-at/L}$  台の値でした。

(水温) 漁場内平均  $12.4^\circ\text{C}$ 。昨年比  $0.3^\circ\text{C}$  低く、平年比  $0.9^\circ\text{C}$  高い。(塩分) 平均  $32.00\text{psu}$ 。前回 (31.76) より約  $0.24\text{psu}$  高い。  
 (栄養塩、珪藻) 珪藻はキートセロスやスケルトネマ等数種が、別府～高砂と明石海峡部で僅かに見られた程度でそれ以外は確認されなかった。明石海峡部周辺海域の窒素が  $2 \mu\text{g-at/L}$  台と少し上昇しており、今回調査は満潮時でその海水の影響が見られた二見東部～江井ヶ島の窒素は  $1.5 \mu\text{g-at/L}$  前後、林崎新漁場で  $1 \mu\text{g-at/L}$  台後半と前回 (4/1) 調査より高い値となっている。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	11.0	12.4	11.5	12.7
窒素	2.8	2.0	3.2	3.3
リン	0.33	0.28	0.26	0.31

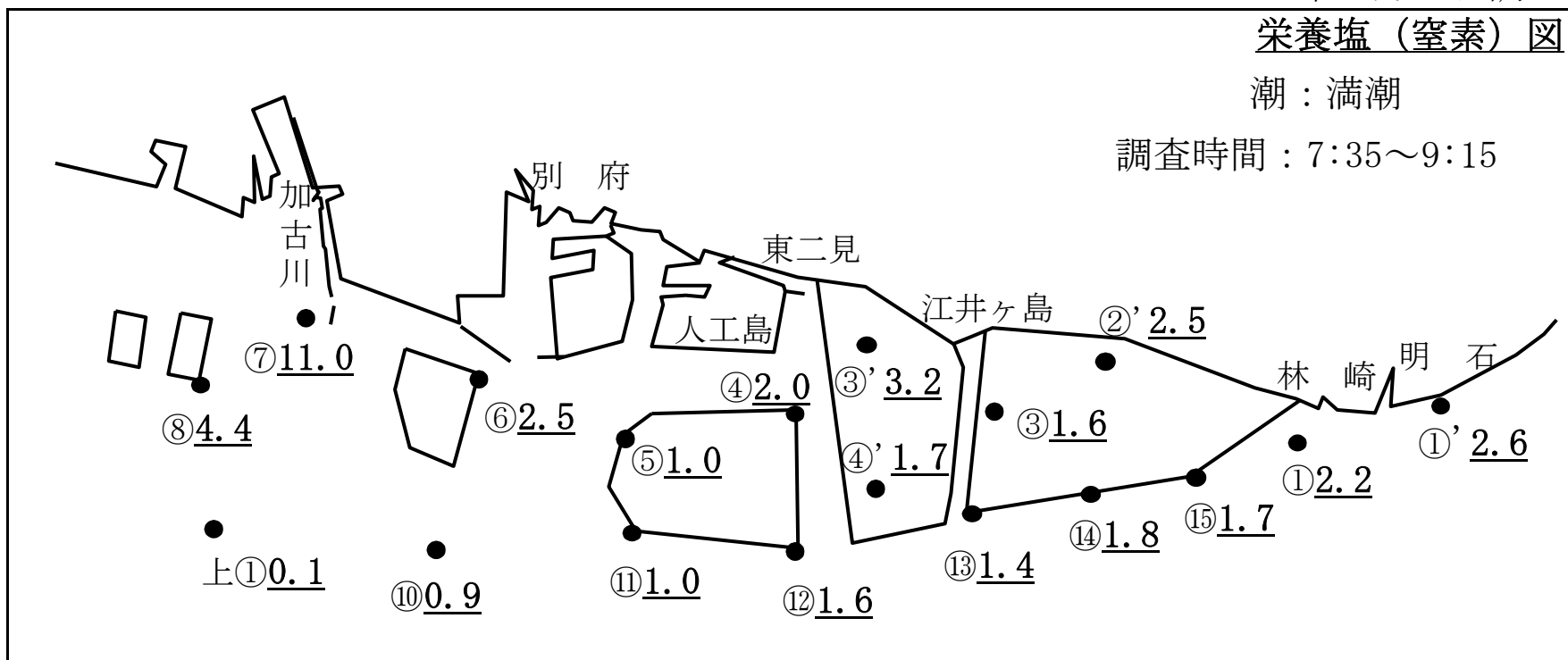
(4/1) (4/8)

2021年 4月 7日調査

## 栄養塩 (窒素) 図

潮：満潮

調査時間：7:35～9:15



## 水温図

